

執筆者紹介

嚴 紹 璽 (Yan Shao-dang)

北京大学教授・北京大学比較文学研究所所長

北京大学卒業。同大学助手・講師・助教授を経て現職。国際比較文学学会 (ICLA) 東アジア研究委員会 (CEAS) President。平成13年度国文学研究資料館客員教授。専門は中日文化交流史および中日比較文学。著書に《漢籍在日本流布的研究》(1992、江蘇出版社)、《日本蔵宋人文集善本鉤沈》(1995、杭州大学出版社)、《中国與東北亜文化交流志》(1999、上海人民出版社) などがある。

木越 治 (きごし・おさむ)

金沢大学文学部教授

金沢大学卒業。東京大学大学院博士課程中退。富山大学教養部・金沢大学教養部を経て現職。専門は日本近世文学、特に上田秋成を中心とする中期の小説。著書に『浮世草子怪談集』(叢書江戸文庫、1994、国書刊行会)、『秋成論』(1995、べりかん社)、『今朝水滸伝 紀行 三野日記 折々草』(共著、新日本古典文学大系79、1992、岩波書店) などがある。

Margaret Key (マーガレット・キー)

インディアナ大学東アジア言語文化学部博士課程

アメリカ、ノートルダム大学卒業。現在、フルブライト大学院研究生奨学制度により東京大学大学院総合文化研究科(超域文化科学専攻表象文化論)に留学中。専門は日本現代文学。論文に「欄外の少女の心：『源氏物語』のマンガを読む」(『第5回アメリカ中西部日本文学研究会報告』1997)、口頭発表に「安部公房の『他人の顔』におけるエロス・殺人・メタフィクション」(第49回アメリカ中西部アジア学会、2000.10) などがある。

Sergey Chironov (セルゲイ・チローノフ)

在日ロシア連邦大使館アタッシェ

モスクワ国立国際関係大学卒業。ロシア連邦外務省アタッシェを経て現職。また、モスクワ国立総合大学附属アジア・アフリカ諸国大学院通信生。専門は日本語・日本文学。

徐 送 迎 (Xu Song-ying)

高崎経済大学非常勤講師

黒竜江大学大学院修士修了。同大学中文学部中国語言文学学科教員を経て、新潟大学大学院現代社会文化研究科博士課程国際社会文化論専攻に進み、博士(文学)を取得。専門は中国文学・中日比較文学。著書に『国風女性形象初探』(1993、北方文芸出版社)、『楽しい中国語』1、2(駿河台出版社)、『『万葉集』恋歌と『詩経』情詩の比較研究』(2002年、汲古書院)などがある。

Brian O. Ruppert (ブライアン・ルパート)

イリノイ大学助教授

プリンストン大学にて宗教学博士取得。テネシー州立大学チャットヌーガ校助教授を経て現職。専門は日本宗教史。著書に、『*Jewel in the Ashes: Buddha Relics and Power in Early Medieval Japan* (Harvard University Asia Center, Harvard University Press, 2000)、論文に「日本前近代史文献翻訳の一考察—舍利信仰関連史料の宗教学的・歴史学的・文学的な多面性—」(『前近代日本の史料遺産プロジェクト研究集会報告集2000』東京大学史料編纂所、2001.6)などがある。

Estelle Leggeri-Bauer (エステル・レジェリ・ボーエル)

パリ国立東洋言語文化研究所助教授

パリ国立東洋言語文化研究所卒業。同研究所にて博士号取得。同大学助手、非常勤講師を経て現職。専門は日本古代・中世美術史。論文に、“Les montreurs ou quelques problemes relatifs a la composition des peintures sur rouleaux”, *Japon pluriel 2. Actes du deuxième colloque de la SFEJ*, Editions Philippe Picquier, 1998, “Architecture, topographie et séquences du récit dans un rouleau illustre japonais du XIIIe siècle, le *Taima mandara engi emaki*”, *Histoire de l'art* 40/41, 1998 などがある。

Claire-Akiko Brisset (クレール・碧子・ブリッセ)

パリ第7大学助教授

パリ第4大学卒業。同大学修士課程修了後、第7大学にて博士号取得。リール第3大学講師、パリ国立東洋言語文化研究所講師を経て現職。専門は日本古典文学及び日本美術史。論文に、“Les ashide: entre texte et image”, *Japon pluriel 3. Actes du troisième colloque de la SFEJ*, Editions Philippe Picquier, 1999, “Le nom dans l'épopée - Aspects du *Heike monogatari*”, in *Cipango, Cahiers d'études japonaises* (INALCO), n°8, 1999 などがある。

朴 贊 基 (Park Chan Ki)

国立木浦大学校副教授

韓国、慶南大学校卒業、韓国外国語大学校修士課程、東京学芸大学大学院修士課程を経て、二松学舎大学大学院にて博士号取得。専門は日本近世文学、特に朝鮮通信使との関わりを研究し、論文多数。著書に長年の研究をまとめた『朝鮮通信使と日本近世文学』（2001、宝庫社出版）がある。

井田 太郎 (いだ・たろう)

早稲田大学大学院博士課程

早稲田大学卒業、同修士課程を経て現在に至る。専門は日本近世文学、特に俳諧。論文に「安永期の酒井抱一の活動」（『近世文芸 研究と評論』58、2000.6）、「寛政前期の抱一」（『近世文藝』73、2001.1）などがある。

Matthi Forrer (マティ・フォラー)

ライデン国立民族学博物館学芸員

ライデン大学卒業、ライデン国立大学にて博士号取得。フリーの美術史家・日本学者を経て現職。2001年、「出島オランダ商館の復原」および「海を渡った大工道具展」を通じたわが国の建築界に対する貢献に対して、日本建築学会文化賞を受賞。専門は日本美術史および蘭日交流史。著書に*Eirakuya Toshiro, publisher at Nagoya : a contribution to the history of publishing in 19th century Japan*, J.C. Gieben, 1985, *The Baur Collection Geneva. Japanese prints, Fondation Baur, 1994*, 『北斎—東西の架け橋 没後150年記念』（1998、日本経済新聞社）、『シーボルトと日本 その生涯と仕事』（共著、2000、八木書店）などがある。